

図書だより 読書感想文特集

2019. 7月

もうすぐ夏休みです。今年も本を読んで、青少年読書感想文全国コンクールに応募しましょう。対象の本は、課題図書と自由図書の2種類があります。夏休みになる前に本を読んでおくと、あとは書くだけです。早めに準備しましょう。

課題図書については6月の図書だよりで紹介したので、今回は自由図書の紹介です。



《命を考える》

『カラフル』 森絵都／文春文庫

死んだはずの僕は、自殺を図った少年の体にホームステイすることになった。

『夏の庭』 湯本香樹実／福武書店

僕は、人が死ぬ瞬間を見てみたいという好奇心から、一人暮らしの老人を見張ることにした。喪われ逝くものと、決して失われぬものとに触れた少年たちを描く清新な物語。

『青空のむこう』 アレックス・シアラー／求龍堂

突然の事故で死んでしまったアーサーは、この世に思いを残したままゴーストになってしまった。

『夢を跳ぶ』 佐藤真海／岩波ジュニア新書

19歳で骨肉種を発症し右足を失った著者の、涙と夢と希望の手記。

『16歳の語り部』 雁部那由多他／ポプラ社

小学生で震災に遭い、津波で多くの知人を亡くした彼らが、5年たって言葉にできることがある。

『命の教室』 池田まさ子／岩崎出版

そこには、動物の命だけでなく、自分自身の命の尊さにも目を向けてほしいという、命のメッセージが込められている。

《成長》

『西の魔女が死んだ』 梨木香歩／新潮文庫

中学生になってから不登校になってしまった少女まいは、その夏を西の魔女と一緒に過ごした。

『ふたり』 赤川次郎／ポプラ社

事故死した姉と、姉の声が聞こえるようになった妹の、不思議な関係を描いた物語。

『君たちはどう生きるか』 吉野源三郎／ポプラ社

知的な好奇心旺盛なコペル君は、父親代わりのおじさんに導かれながら成長していく。

『宇宙のみなしご』 森絵都／講談社

新しく見つけたとっておきの遊びは、真夜中に近所の家に忍び込んで屋根にのぼること。

《戦争》

『アンネの日記』 アンネ・フランク／文春文庫

ナチ・ドイツのユダヤ人迫害により、15歳の「生」を終えたアンネ・フランク…。

世界一有名な少女の日記。

『杉原千畝物語 命のビザをありがとう』 杉原幸子／金の星社

1939年リトアニア日本領事館の杉原千畝は、外務省の命令に背いてユダヤ人のためにビザを発給し続けた。

『ガラスのうさぎ』 高木敏子／金の星社

戦争の中を生き抜いた著者が、平和への祈りを込めて少女時代の体験をつづったノンフィクション。

『火垂るの墓』 野坂昭如／ポプラポケット文庫

昭和20年、戦争のなか親も家も失い、2人きりになってしまった兄妹。つたなくも懸命に生きようとする姿をえがいた名作。

裏に続く…

『**モモ**』 ミハル・エンデ／岩波書店

この世にあらわれた時間泥棒のせいで世界は荒んでいく。人々を救ったのは無口な少女「モモ」だった。

『**坊っちゃん**』 夏目漱石／ポプラ社

江戸っ子気質で無鉄砲な坊ちゃんは、赴任した四国の中学校で、悪戦苦闘の日々を送る。個性豊かな教師陣、生意気な生徒たち…。青年の奮闘を描くユーモアあふれる傑作。

『**羅生門**』 芥川龍之介／理論社

荒れ果てた門の上で行き場を無くした男が見たものは、死体の髪を抜く老婆の姿だった…。

『**杜子春**』 芥川龍之介／講談社文庫

人間に愛想をつかし、世の中にむなしさを感じた杜子春は、仙人の弟子になることを決意する。何があっても口をきいてはいけないという、試練を与えられるが…。

『**きよしこ**』 重松清／新潮社

吃音に苦しむ少年の小学校入学から高校卒業までを描いた物語。大切なことが言えなかったすべての人に捧げたい珠玉の少年小説。

『**島はぼくらと**』 辻村深月／講談社

4人は島の唯一の同級生。故郷を巣立つ前に彼らが知った大切なこととは？

『**あと少し、もう少し**』 瀬尾まいこ／新潮文庫

陸上部の榊井は、頼りない顧問と寄せ集めのメンバーと中学最後の駅伝大会に臨むことになる。

『**フラダン**』 古内一絵／小峰書店

女子率100%のフラダンス愛好会に集められた4人の男子高校生。震災から5年後の福島を舞台に描く、とびきりの笑顔と涙の青春ストーリー。

『**甲子園だけが高校野球ではない**』 廣済堂出版

日本全国で本当にあった泣ける青春物語21。高校野球の雑誌記者や編集者が、取材で集めた、実話が満載。

『**友だち幻想**』 菅野仁／ちくまプリマー新書

友だちは何よりも大切。でもなぜこんなに友だちとの関係で傷つき、悩むのだろう。

『**給食アンサンブル**』 如月かずさ／光村図書

6人の中学生の揺れる心が、給食をきっかけに変わっていく。優しく胸に響くアンサンブルストーリー。

『**世界を、こんなふうに見てごらん**』 日高敏隆／集英社

不思議と驚きにみちた世界を「なぜ？」と問い続けた動物行動学者がやさしい言葉で綴る。

『**スカートはかなきゃダメですか？**』 名取寛人／理論社

世界的に有名な男性だけのバレエ団で活躍した唯一の日本人。名取寛人が語る、女として生まれて男になるまでと、夢の叶え方。

『**ぼくが宇宙人をさがす理由**』 鳴沢真也／旬報社

ひきこもり少年だった僕が、世界15か国の科学者達のリーダーになって宇宙人探し大作戦をする。

『**ワンダー**』 R・J・パラシオ／ほるぷ出版

生まれつき顔に障害があるオーガストは、10歳で初めて学校へ通うことになった。

『**バッタを倒しにアフリカへ**』 前野ウルド浩太郎／光文社

バッタ被害を食い止めるため、バッタ博士は単身モータリアへと旅立った。科学冒険就職ノンフィクション。

『**跳びはねる思考**』 東田直樹／イーストプレス

会話ができないもどかしさ、意に沿わない行動をする体を抱え、だからこそ、一語一語を大切に発してきた重度自閉症の作家・東田直樹のエッセイ。

*** 紹介した本は、すべて図書室にあります ***